

一般社団法人日本ファームステイ協会よりご案内

【JPCSA 通信 Vol.15】

2019年11月25日発行

会員各位

一般社団法人日本ファームステイ協会事務局です。
いつも当会の活動にご理解頂き、誠にありがとうございます。

ラグビーワールドカップ(W杯)日本大会(9月20日～11月2日)が閉幕し、44日間にわたる熱戦が多くの方の記憶に刻まれたことと思います。

開催都市が北海道・東北・九州など全国12ヶ所で日本各地に広がっており、インバウンド需要による地域活性化に期待が高まりました。

改めて、インバウンド目線での情報発信や環境作りの重要性、地方ごと施設ごとの実情に即した多様な観光コンテンツの提供の大切など、インバウンド対策の充足がビジネスチャンスにつながる可能性を感じました。

さて、今回は下記の内容で、<JPCSA 最新情報>、<賛助会員からのお知らせ>をお届け致します。

- ◆イタリア視察研修を実施しました
- ◆開催迫る!「農山漁村が元気になるための東北版サミット」
- ◆株式会社農協観光は、国産品応援サイト『サトクル』の運営と6次産業化支援を提供しています
- ◆株式会社百戦錬磨 ジャパンツーリズムアワード『国土交通大臣賞』受賞記念!『集客コンシェルジュ』6ヵ月無料キャンペーン♪実施中
- ◆一般社団法人全国農協観光協会主催「自然・農林体験活動における研修会・セミナー」開催情報

<JPCSA 最新情報>

◆イタリア視察研修を実施しました

協会では、11月8日から11月15日の日程で、会員を対象としたイタリアの「アグリツーリズム」「アルベルゴ・ディフーズ」を視察する研修を実施しました。

今回は、先進国での取組みを日本の「農泊」推進のヒントにすることをテーマに小平町農泊ビジネス推進協議会様、八幡平DMO様、株式会社クレセント様、全国農業協同組合連合会(JA全農)様、農林中央金庫様等の農泊実践者や支援する団体の皆さまにご参加いただきました。

視察研修では、「アグリツーリズム」や「アルベルゴ・ディフーズ」の施設に宿泊するだけでなく、施設が提供するチーズづくり体験、イタリアの家庭料理体験、地域の方々との交流も実施しました。

【研修後記】

イタリア版の農泊である「アグリツーリズム」、および、地域の空き家を活用した分散型地域交流ホテルとも言うべき「アルベルゴ・ディフーズ」の視察、調査に行って参りました。

専門家による完璧なイタリア語通訳付き、また移動はすべて専用バス、という至れり尽くせりの研修でした。宿泊、視察先は、①アグリツーリズム単体施設、②アルベルゴ・ディフーズ単体施設、

③アグリツーリズム+アルベルゴ・ディフーズ両方認証施設、の3パターン全て体験できました。

観光による農業地域の経済的な再生、過疎地域に移住者を呼び込む、といった日本と同様の課題に取り組み、様々な小さな成功を実現しているオーナーの皆さんに長時間にわたりインタビューを敢行しました。彼らとの意見交換から宿泊施設運営や地域連携の在り方だけでなく、農業者として、また地域コミュニティの一員としての志、哲学まで学ぶことができました。

日本でも同様の志を以て取り組んでいる農泊実践者の皆さんがたくさんいらっしゃると思う浮かび、イタリアのよいところ、取り入れられるところを取り込んでやっていけば(まねるはまなぶの第一歩！)、農泊成功の近道を辿ることが出来るのではないかと期待感に満ちて帰国の途につきました。

10月28日に「日伊国際農泊シンポジウム」が開催されたところでもあり、近年イタリアの田園地域の農村観光振興施策には関心が寄せられています。そしてこの視察研修に参加された皆さんも、大変刺激を受けてきたようでした。

日本ファームステイ協会では、毎年、実践者向けの農泊海外視察研修ツアーを企画実施致しますので、随時こちらのメールマガジンでもお知らせしていきます。また、海外視察にご興味ありましたら合わせてご一報ください。実りある研修を企画、催行いたします。

(事務局:大野)



◆開催迫る！「農山漁村が元気になるための東北版サミット」

(一社)全国農協観光協会では、令和元年度 農山漁村振興交付金(広域ネットワーク推進事業)を活用し、宮城県仙台市におきまして「農山漁村が元気になるための東北版サミット」を開催いたします。

「手をつなごう！高め・広めよう！東北の農山漁村(むら)」というサブタイトルで「農泊」をはじめ、「農福連携」「ディスカバー農山漁村(むら)の宝選定地区」など地域の活力創造につながる取組をされている団体様に、「連携」をキーワードに今後の東北の農林水産業の発展のため、広くご参集いただきます。

サミットでは、九州地区の広域連携でご活躍の(一社)ムラたび九州の代表理事 本田 節氏の基調講演、大館市まるごと体験推進協議会会長 石垣一子氏による「秋田弁によるラジオ体操」、(一社)みなかみ町体験旅行の常務理事 北山 郁人氏の講演とトークセッション、東洋大学名誉教授の青木 辰司氏と本田節氏のトークセッションのほか、東北における農泊等実践者のみなさまによる東北版サミット宣言のほか、幅広い支援事業者とご登壇者とのビジネスマッチング会、交流会(交流会のみ有料)といった内容で、「つながり」を広げるきっかけづくりといたします。みなさまのご参加をお待ちしております！

1日 時	令和元年 11 月 29 日(金) 13 時 00 分～19 時 30 分終了(予定) 開場 12:20～
2場 所	日立システムズホール仙台(仙台市青年文化センター) 仙台市青葉区旭ヶ丘 3-27-5 (仙台市営地下鉄・南北線 旭ヶ丘駅下車、徒歩 3 分)
3内 容	《第 1 部 「みつけよう！女性・ワカモノの力 つながろう東北！」》13 時 00 分～ ●基調講演 「広域連携とインバウンドで広がる九州農泊」 (一社)ムラたび九州 代表理事 本田 節 氏 ●観光コンテンツお披露目 「秋田弁ラジオ体操」 陽気な母さんの店(株)代表取締役 石垣 一子 氏 ●広域連携トークセッション① 「農山漁村の若者・よそものの力」 (一社)みなかみ町体験旅行 常務理事 北山 郁人 氏 (株)農協観光 地域交流推進室 室長 齋藤 充利 氏 ●広域連携トークセッション② 「東北から発信する広域連携に向けて」 (一社)ムラたび九州 代表理事 本田 節 氏 東洋大学 名誉教授 青木 辰司 氏 (株)農協観光 地域交流推進室 室長 齋藤 充利 氏 ●東北版サミット宣言 大正大学 地域構想研究所 教授 村橋 克則 氏 (前 せとうち DMO 事業本部長) 陽気な母さんの店(株)代表取締役 石垣 一子 氏 NPO 法人遠野山・里・暮らしネットワーク 会長 菊池 新一 氏 むらっこ物産館 会長 藤井 けい子 氏 《第 2 部 「広域連携ネットワーキングタイム」》16 時 00 分～ ●支援事業者等との個別相談・商談会 《第 3 部 「東北版サミット交流会(会費制)」》18 時 00 分～

※1. お申し込みフォームはこちら↓↓↓

<https://mice.ntour.co.jp/mice/contents/iznk0001/>

※2. 詳細は専用 WEB サイトでご確認ください。

<https://ntour.jp/symposium/tohokusummit/>

※3. 詳細案内のチラシページ:

<https://jpcsa.org/press/tohokuban-191023.pdf>

みなさまのご参加お待ちしております！

<賛助会員からのお知らせ>

◆株式会社農協観光は、国産品応援サイト『サトクル』の運営と6次産業化支援を提供しています

株式会社農協観光では、「農泊」の推進において、地域製品の販売は重要な要素と考え、国産にこだわった国産品応援サイト『サトクル』を運営しています。

『サトクル』は、地域に滞在し、交流を楽しんだ後、つまり“旅後”もお取寄せをとおして地域と交流することで、継続的な効果を創り出すことをサポートするサイトです。

また、このサイトの運営による販売の支援だけでなく、既存商品のリニューアルや新商品の開発に向け、当社提携の専門家を研修講師やアドバイザーとして派遣し、支援しています。

只今、お歳暮キャンペーン中です。この機会に是非一度お試しください。

※国産品応援サイト『サトクル』

<https://www.satokuru.com/store>

◆株式会社百戦錬磨 ジャパンツーリズムアワード『国土交通大臣賞』受賞記念！『集客コンシェルジュ』6カ月無料キャンペーン♪実施中

2019年、株式会社百戦錬磨の『集客コンシェルジュ』の取り組みが、観光・旅行業界における最大の祭典ジャパンツーリズムアワードにて最高賞の「国土交通大臣賞」を受賞しました。「農家など外国人の受け入れに不安のある施設の課題解決にきめ細かく対応する取り組みは先駆的かつ発展性が高く、地方へのインバウンド誘致の切り札になることが期待される」と評価いただいております。

このサービスは、

「インターネットでの販売を行ってみたいけどやり方がよく分からない」

「外国人旅行者を受け入れてみたいけど色々不安」

「修学旅行以外でも日本人旅行者を受け入れてみたい」

という方にお勧めのサービスです！

なんと、この度、受賞を記念して、

「集客コンシェルジュサービス今だけ代行基本料金(月額1万円)6カ月無料キャンペーン♪」を行っております！

「サービスに魅力を感じるけど費用をかけたくないな～」と思っていた方や

「とりあえず6か月間だけ無料だからやってみるか」という方も大歓迎！

この機会に是非お気軽にお問合せください！

詳しくは、こちらをご覧ください。

※1.百戦錬磨 集客コンシェルジュのページ:

<https://www.hyakuren.org/concierge/>

※2. 詳細案内のチラシページ:

<https://jpcsa.org/press/syukyaku-191121.pdf>

◆一般社団法人全国農協観光協会主催「自然・農林体験活動における研修会・セミナー」開催情報

このリスクマネジメント研修では、自然・農林漁業体験活動の受入れ協議会やイベント主催者側等が、野外活動に精通した弁護士やリスクマネジメントの専門家の講習及びワークショップを通じて、リスク対策を講じること、受入れ体制を構築することを目的とし、事前対策や安全についての意識改革や、リスク回避に関するより実践的かつ専門的な知識の習得をはじめ、安全管理マニュアルの作り方等について学びます。

＜第1回＞令和元年度自然・農林漁業体験におけるリスクマネジメント研修	
1実施日	令和2年 2月13日(木)13:00～17:00 14日(金) 9:00～15:00
2会場名	秋葉原 N ツアービル 8階会議室(東京都千代田区外神田 1-16-8)
3定員	各回 20名(先着順)
4受講料	25,000円(税込)
＜第2回＞令和元年度自然・農林漁業体験におけるリスクマネジメント研修	
1実施日	令和2年 2月27日(木)13:00～17:00 28日(金) 9:00～15:00
2会場名	秋葉原 N ツアービル 8階会議室(東京都千代田区外神田 1-16-8)
3定員	各回 20名(先着順)
4受講料	25,000円(税込)
※各回2日間の研修になります。	

詳細につきましては、同会ホームページにてご確認ください。

※1.自然・農林体験活動における研修会・セミナー

<https://www.znk-kensyu.jp/risk/>

※2.自然・農林体験活動における研修会・セミナー 開催情報

<https://www.znk-kensyu.jp/risk/ichiran.html>

※3.詳細案内のチラシページ:

<https://www.znk-kensyu.jp/risk/images/01chirashi.pdf>

いかがでしたでしょうか？

最後までお読みいただきありがとうございました。

当会では随時会員を募集しております。

皆様の周りに農泊に取組中、またはご関心をお持ちの方がいらっしゃいましたら、当会をご紹介いただけますと幸いです。

ご質問等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

また、こちらのメールマガジン上で、会員様が実施されます農泊関連イベントや研修の告知を承ります。掲載のご希望がございましたら、送信希望月の1カ月前までに下記 E-mail へご連絡をお願い致します。受信後、当会担当者よりご連絡をさせていただきます。

発行：一般社団法人日本ファームステイ協会事務局

〒101-0021 東京都千代田区外神田 2-17-2

(TEL:03-3526-2493 / FAX:03-3526-2494)

ホームページ URL はこちら:<https://jpcsa.org/>

問い合わせ先 E-mail:info@jpcsa.org

=====